

2024年3月期
決算補足説明資料

株式会社 **日本トリム**
証券コード：6788(東証プライム)

2024年5月14日

過去最高

売上高

20,414百万円

(前期比 13.7%増)

経常利益

3,227百万円

(前期比 28.3%増)

親会社株主に帰属する
当期純利益

2,150百万円

(前期比 30.6%増)

過去最高売上高を更新！ 新たな成長路線へ

● 整水器

主軸の職域販売は売上高が前期比14.7%増。セミナー回数はコロナ禍前の水準に回復。スポーツ・美容関連も好調。価格改定も寄与。卸・OEM部門は売上高が前期比52.8%増。既存OEM先が好調、ベトナム等の海外も順調に伸長。

● 浄水カートリッジ

前期末の価格改定前の駆け込み需要の反動減は正常化。価格改定も寄与して売上高5,348百万円（前期比5.8%増）。

● インドネシア ボトルドウォーター事業

卸ルート変更、TVCM等のマーケティング強化施策が奏功し、過去最高売上高を更新。

第3四半期（1月～9月）までは先行投資により営業損失となるも、通期で98百万円の営業利益を計上。

● 電解水透析

当期に導入予定の4施設が次期以降に延期。導入は2施設にとどまるも、次期以降の普及拡大のための基盤強化に注力。

● ステムセル研究所

過去最高収益を更新。月次の新規保管数が好調に伸長。関連事業への投資も積極的に展開。

2024年3月期 連結業績サマリー

単位：百万円 (百万円未満切捨)	2023年3月期		2024年3月期		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	17,951	100.0%	20,414	100.0%	2,463	13.7%
売上原価	5,520	30.7%	6,194	30.3%	674	12.2%
売上総利益	12,431	69.3%	14,220	69.7%	1,788	14.4%
販売費及び一般管理費	10,053	56.0%	11,139	54.6%	1,086	10.8%
営業利益	2,378	13.2%	3,080	15.1%	701	29.5%
経常利益	2,515	14.0%	3,227	15.8%	712	28.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,646	9.2%	2,150	10.5%	503	30.6%
一株当たり当期純利益(円)	214.78	—	280.51	—	65.73	30.6%

売上高のポイント

- ・連結売上高過去最高を更新
- ・整水器、CTRの販売増、価格改定寄与

売上総利益率の主な変動要因

- ・整水器、CTRの価格改定 (+)
- ・原材料価格の高騰 (-)
- ・整水器の卸部門やポトルドウォーター事業の伸長による売上構成の変化 (-)

販売費及び一般管理費のポイント

- ・変動費の増加 +397百万円
- ・人件費 +323百万円
定期昇給及び人員増、J-ESOP導入による株式報酬費用などの増加
- ・広告宣伝費 +199百万円
<増加要因>
ポトルドウォーター事業のTVCMやSNSなどのマーケティング費用の増加
<減少要因>
整水器販売事業のTVCMや外注を起用した広告費の減少

2024年3月期 セグメント別売上高

単位：百万円 (百万円未満切捨)		2023年3月期		2024年3月期		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
ウォーターヘルスケア	(フロービジネス)						
	DS事業部 (職域販売)	3,959	22.1%	4,543	22.3%	583	14.7%
	HS事業部 (取付・紹介販売)	1,526	8.5%	1,518	7.4%	△7	△0.5%
	SS事業部 (店頭催事販売)	524	2.9%	522	2.6%	△2	△0.4%
	卸・OEM部門	851	4.7%	1,300	6.4%	449	52.8%
	メンテナンス部門	327	1.8%	319	1.6%	△8	△2.7%
	リプレイス部門	309	1.7%	348	1.7%	38	12.6%
	WEB販売	492	2.7%	467	2.3%	△25	△5.1%
	整水器合計	7,991	44.5%	9,020	44.2%	1,028	12.9%
	(ストックビジネス)						
	カートリッジ	5,054	28.2%	5,348	26.2%	293	5.8%
	(子会社売上)						
	広州多寧健康科技有限公司	185	1.0%	186	0.9%	0	0.5%
	PT. SUPER WAHANA TEHNO	1,638	9.1%	2,267	11.1%	629	38.4%
(その他)	795	4.4%	955	4.7%	160	20.2%	
小計	15,665	87.3%	17,777	87.1%	2,112	13.5%	
医療関連	再生医療関連事業	2,170	12.1%	2,576	12.6%	406	18.7%
	電解水透析事業	116	0.6%	60	0.3%	△55	△48.0%
	小計	2,286	12.7%	2,636	12.9%	350	15.3%
連結合計	17,951	100.0%	20,414	100.0%	2,463	13.7%	

<日本トリム>

整水器販売

- ・価格改定が寄与
- ・DS事業部 (職域販売)
コロナ禍収束による営業活動正常化。
スポーツ分野、美容分野での展開が好調。
- ・卸・OEM部門
既存OEM先大幅増、新規OEM先稼働で
OEM売上前期比+77.8%。
海外向けはベトナム、香港、フィリピンが増加。
海外向け売上前期比+45.6%。

カートリッジ

- ・価格改定前の駆け込み需要の反動減は
正常化。価格改定が寄与し、売上高は
順調に伸長。

<PT.SUPER WAHANA TEHNO>

ボトルドウォーター事業

- ・卸ルート大幅変更により販売数増加。
2度のTVCM(2月~3月、7月~8月)や
インフルエンサーを起用したSNS広告
が奏功。ペットボトル、ガロンボトル
ともに年間売上高過去最高を記録。

過去最高 売上高

22,800百万円
(前期比 11.7%増)

過去最高 経常利益

3,700百万円
(前期比 14.7%増)

親会社株主に帰属する
当期純利益

2,470百万円
(前期比 14.9%増)

売上高、営業利益、経常利益 過去最高の更新を計画！

● 整水器

整水器売上高 10,030百万円（前期比11.2%増）を計画。職域販売は、健康経営による企業設置、スポーツ・美容関連での展開を深耕。人員増員、営業力底上げに引き続き注力。卸・OEM部門は、海外向けの新規開拓に注力。

● 浄水カートリッジ

売上高5,480百万円（前期比2.5%増）を計画。

● インドネシア ボトルドウォーター事業

売上高2,700百万円（前期比19.1%増）過去最高更新を計画。引き続き、マーケティングに先行投資。将来を見据え、新たな自社工場建設への投資を検討。

● 電解水透析

売上高200百万円（前期比230.3%増）を計画。本年7/7 第1回電解水透析研究会・学術集会在開催予定。

● ステムセル研究所

売上高3,000百万円（前期比20.9%増）、経常利益600百万円（前期比43.8%増）過去最高収益更新を計画。

2025年3月期 連結業績予想

単位：百万円 (百万円未満切捨)	2024年3月期実績		2025年3月期予想		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	20,414	100.0%	22,800	100.0%	2,385	11.7%
売上原価	6,194	30.3%	7,060	31.0%	865	14.0%
売上総利益	14,220	69.7%	15,740	69.0%	1,519	10.7%
販売費及び一般管理費	11,139	54.6%	12,170	53.4%	1,030	9.2%
営業利益	3,080	15.1%	3,570	15.7%	489	15.9%
経常利益	3,227	15.8%	3,700	16.2%	472	14.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,150	10.5%	2,470	10.8%	319	14.9%
一株当たり当期純利益 (円)	280.51	—	322.24	—	41.73	14.9%
設備投資	428	2.1%	450	2.0%	21	5.0%
減価償却費	440	2.2%	440	1.9%	△0	△0.1%
研究開発費	234	1.1%	271	1.2%	36	15.8%

予想の前提

売上高のポイント

- ・連結売上高過去最高更新を目指す。
- 整水器販売事業
- ボトルウォーター事業
- 再生医療関連事業

過去最高目標

売上総利益率の主な変動要因

- ・整水器の卸部門やボトルウォーター事業の伸長による売上構成の変化（-）

販売管理費の主な増加要因

- ・変動費 +340百万円
- ・人件費 +210百万円
- ・広告費 +380百万円
(整水器販売事業、ボトルウォーター事業のTVCMなどのマーケティング費用)

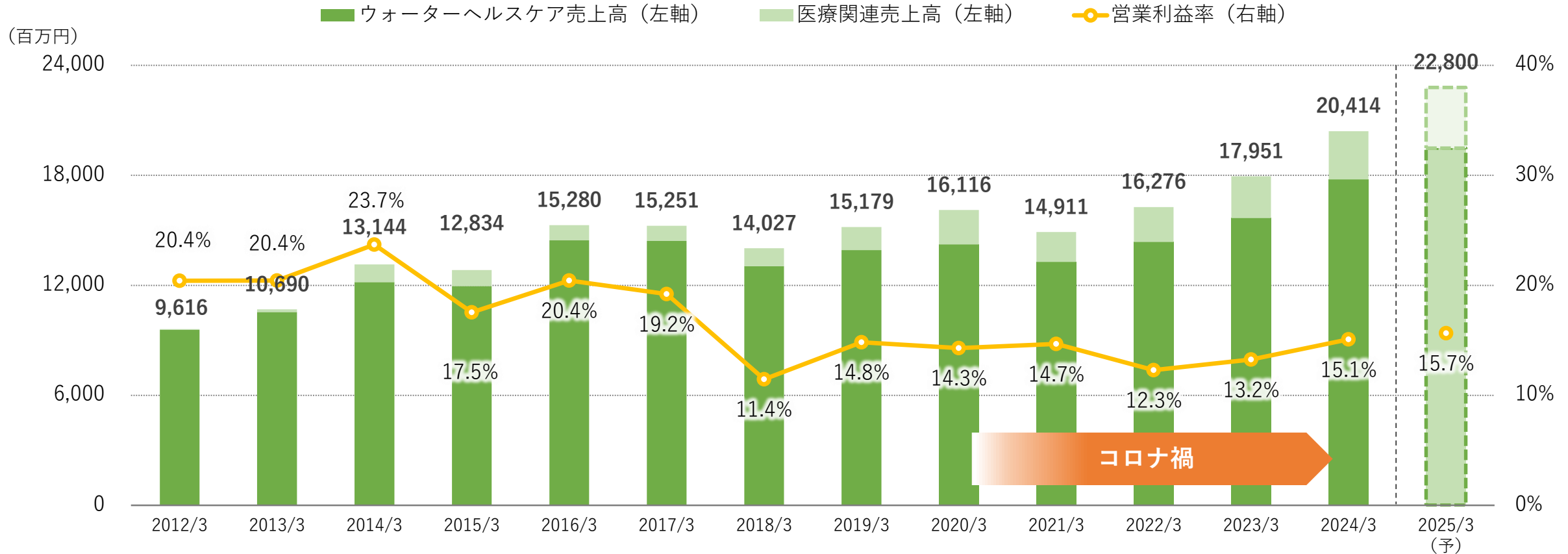
営業利益
経常利益

過去最高目標

2025年3月期 セグメント別売上高予想

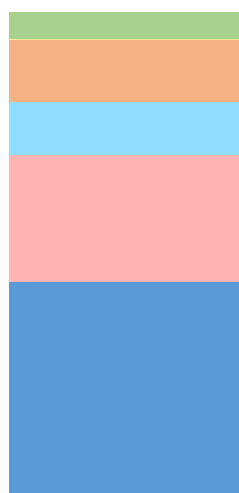
単位：百万円 (百万円未満切捨)		2024年3月期実績		2025年3月期予想		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
ウォーターヘルスケア	(フロービジネス)						
	DS事業部 (職域販売)	4,543	22.3%	5,042	22.1%	498	11.0%
	HS事業部 (取付・紹介販売)	1,518	7.4%	1,584	7.0%	65	4.3%
	SS事業部 (店頭催事販売)	522	2.6%	588	2.6%	65	12.6%
	MS事業部 (卸・OEM販売)	1,300	6.4%	1,652	7.2%	351	27.0%
	業務部 (メンテナンス)	319	1.6%	341	1.5%	22	7.1%
	リプレイス架電	348	1.7%	370	1.6%	22	6.4%
	WEB販売	467	2.3%	452	2.0%	△14	△3.2%
	整水器合計	9,020	44.2%	10,030	44.0%	1,010	11.2%
	(ストックビジネス)						
	カートリッジ	5,348	26.2%	5,480	24.0%	132	2.5%
	(子会社売上)						
	広州多寧健康科技有限公司	186	0.9%	210	0.9%	23	12.7%
	PT. SUPER WAHANA TEHNO	2,267	11.1%	2,700	11.8%	432	19.1%
(その他)	955	4.7%	1,060	4.7%	104	10.9%	
小計	17,777	87.1%	19,480	85.4%	1,702	9.6%	
医療関連	再生医療関連事業	2,576	12.6%	3,120	13.7%	543	21.1%
	電解水透析事業	60	0.3%	200	0.9%	139	230.3%
	小計	2,636	12.9%	3,320	14.6%	683	25.9%
連結合計	20,414	100.0%	22,800	100.0%	2,386	11.7%	

2027年3月期目標達成に向け、成長路線へ。



2027年3月期の売上高目標

204億円

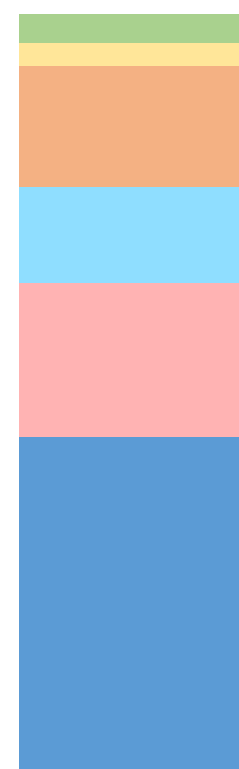


■ その他	: 11億41百万円
■ 電解水透析	: 60百万円
■ 再生医療関連	: 25億76百万円
■ インドネシア	: 22億67百万円
■ カートリッジ	: 53億48百万円
■ 整水器	: 90億20百万円

2024年3月期



320億円



■ その他 + 新規分野	: 14億円
■ 電解水透析	: 10億円
■ 再生医療関連	: 51億円
■ インドネシア	: 40億円
■ カートリッジ	: 65億円
■ 整水器	: 140億円

2027年3月期目標

資本政策の基本方針

「資本効率性」「株主還元」「財務健全性」をバランスよく実現し、株主価値の持続的向上を目指す

2022年11月8日に上記方針へ改定

2022年11月8日終値

2,363円

2024年3月29日終値

3,835円

現状認識と今後の対応

- 1 資本コスト 概ね7.5%程度と認識 ▶ 2024年3月期のROEは9.9%
- 2 P B R 2024年3月期末 1.32倍

- ①2024年3月期のROEは9.9%、過去3年の実績平均は9.5%と、安定して資本コストを上回る水準。
- ②PBRは1倍を超える水準であるも、現状株価は割安であると認識。
- ③更なる企業価値向上に向け、まずは中期目標である売上高320億の達成と、M&Aによる新規事業への投資や、市場評価の改善に向けたIR活動の強化、更なる株主還元策の実施に取り組む。

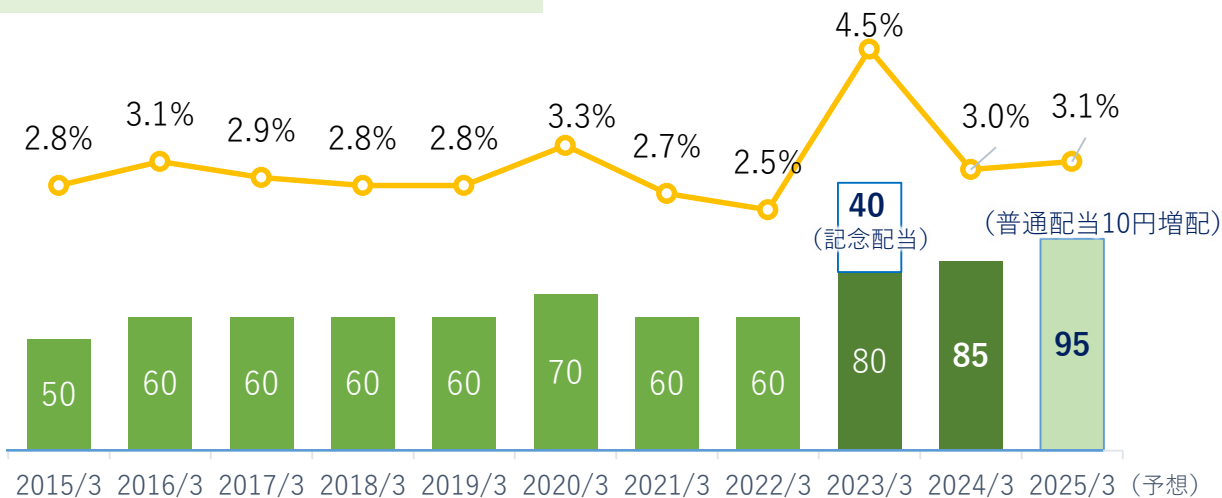
具体的数値目標

1 資本効率性の向上 目標指標：ROE 10%以上

2 株主還元の強化 基準：DOE 3%

※ ROE（自己資本利益率） ※ DOE（株主資本配当率）= ROE × 配当性向

配当金額・DOEの推移



2025年3月期
期末配当予想 **95円** **10円増配**

DOE **3.1%** 配当性向 **29.5%**

※ 会社予想ベース

株主優待制度

弊社商品 30%オフ

ROEの推移

2024年3月期
(実績)
9.9%

2025年3月期
(目標)
10.6%

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。